

第19回  
日本応用老年学  
学会大会



19  
TH

Society for  
Applied  
Gerontology  
Japan

# NEXT GERONTOLOGY

新世代シニアのための社会創造  
ー産官学民が共創する未来ビジョンー

日時 2024年11月9日(土)・10日(日)

会場 慶應義塾大学 日吉キャンパス



<https://taikai2024.jp/>

# 第19回 日本応用老年学会大会

## 大会主催シンポジウム

### 地域社会とウェルビーイング

座長

前野隆司 氏

(慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科教授/武蔵野大学ウェルビーイング学部長)



シンポジスト

村上敬亮 氏 (デジタル庁 国民向けサービスグループ(グループ長))

水谷供子 氏 (浜松市役所 デジタル・スマートシティ推進部長)

宮森健一郎 氏 (会津若松市役所 健康福祉部副部長兼健康増進課長)

デジタル田園都市構想を核とし、地域社会に根差したウェルビーイングとジェロントロジーの実践の未来を探ります。先進的なアイデアと実践的な戦略が交差する場で、持続可能な社会の構築に向けた議論を展開します。

### 高齢者が生涯にわたって自立的に経済活動ができる包摂的な社会経済システムの確立

座長

駒村康平 氏 (慶應義塾大学 経済学部教授、経済研究所ファイナンシャル・ジェロントロジー研究センター長)



シンポジスト

栗田圭一 氏 (地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 認知症未来社会創造センター センター長)

石崎浩二 氏 (三菱UFJ信託銀行エグゼクティブアドバイザー)

尾川宏豪 氏 (慶應義塾大学 経済研究所ファイナンシャル・ジェロントロジー研究センター特任講師)

黒田美亜紀 氏 (明治学院大学 法学部教授)

宮崎進一 氏 (一般社団法人全国地域生活支援機構 代表理事)

古市盛久 氏 (株式会社御用聞き 代表取締役社長)

高齢化進展に伴い高齢者の社会・経済への影響が増大しています。本シンポジウムでは、認知機能低下の経済・社会影響と、消費や資産管理・運用の課題を「金融老年学(ファイナンシャル・ジェロントロジー)」の視点から議論します。

※本シンポジウムは、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)「包摂的コミュニティプラットフォームの構築(D3)」の開発研究の一部です。

### 健康に長生きできる住まいと住まい方を考える

座長

伊香賀俊治 氏 (慶應義塾大学 名誉教授)



シンポジスト

満倉靖恵 氏 (慶應義塾大学 理工学部教授/医学部精神神経科学教室兼担教授)

小熊祐子 氏 (慶應義塾大学 スポーツ医学研究センター教授)

鈴木昌 氏 (東京歯科大学 市川総合病院救急科教授/慶應義塾大学 水素ガス治療開発センター特任教授)

安藤真太郎 氏 (北九州市立大学 国際環境工学部准教授)

「健康日本21(第三次)」基本方針(2023.5.31大臣告示)に「建築・住宅等の分野における取組と積極的に連携することが必要」が盛り込まれました。不本意な老後を回避し、健康に長生きできる住まいと住まい方を考えます。

## 学会企画シンポジウム

### ジェロントロジーを学ぶ価値

座長

石橋智昭 氏 (公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団 研究部長)



ジェロントロジーを企業活動、まちづくり活動、日々の市民生活に活かすための「ジェロントロジー検定試験」合格者の方々の、修得知識の社会実装事例をまとめて公開。未来づくりに励む新世代シニアの底力をお伝えします。